



神話伝説の山里

たかちほごう

つうしん

「高千穂郷」通信

平成25年3月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.123



フォレストピア 学びの森

五ヶ瀬中等教育学校

五ヶ瀬中等教育学校は、平成6年に全国初の公立中高一貫教育校として開校し、さらに平成11年からは**全国初の中等教育学校**として、五ヶ瀬町の自然豊かな山懐で歴史を刻んできました。

6年間の一貫教育や少人数指導などにより県内トップクラスの進学実績ですが、それだけではなく、この学校のすばらしいところは特色ある豊かな教育内容にあります。

その具体的なものの一つが「**フォレストピア学習**」です。豊かな自然や生活・文化を題材に体験的な学習を取り入れながら、生徒自らが不思議に思ったこと、興味を持ったことをテーマに設定し、実験やインタビュー、文献調査などを通して自分たち自身で解決し、発表するというものです。そこには地域住民の方や学術関係者のみなさんが人生の先輩あるいは教師として参画されたりもします。この学習により「自らが」という主体性やコミュニケーション能力が培われます。

また、この学校は全寮制で、学校の敷地内にある「**こだま寮**」で1年生から6年生までの240名が規律正しい生活を送りながら一緒に暮らしています。「**ハウスマスター**」の先生方の支えを得ながら、上級生から下級生まで異なる学年の生徒達で構成する「**ファミリー制度**」など、お互いに支え合うことで強い絆が生まれ、自己管理能力とともに社会性が育まれます。

3月3日、中等教育学校として第14回目の卒業式が挙行されましたが、これまで600名を超える、**感性にあふれ生きる力に満ちたすばらしい人材**を輩出しています。



日之影町立小中学校卒業生植樹

東日本大震災からちょうど2年目となる3月11日、日之影町癒しの森運動公園において「日之影町立小中学校卒業生植樹」が開催されました。

今年卒業を迎える日之影町内の小中学生93名が参加し、震災被害者への黙祷の後、ヤマザクラ、イロハモミジ、トチノキ、ヒメシヤラの計500本を植樹しました。

この取組は、子供達に森づくりや環境問題への意識を高めてもらうために行われたもので、今後毎年開催することも検討されています。

今回の植樹が**参加者みんなの大切な思い出**となり、**植樹した苗木と一緒に大きく元気に育って**いってほしいと願った一日でした。

なお、ヤマザクラ等の苗木は、県民のみなさんからいただいている「**森林環境税**」を使って提供されたものです。



植樹の様子



みなさんで記念撮影

第3回神代川ワークショップ

3月3日、神代川沿いの住民のみなさんを対象に、**神代川の川づくり**について第3回目となる**ワークショップ**を開催しました。

今回のワークショップでは、まず天真名井で湧水を昔のように溢れさせ、参加者のみなさんから御意見をいただきました。

その後、中央公民館に移動し、4グループに分かれ、神代川をどのような川に整備したいか協議を行いました。検討した内容については各グループごとに自由にイメージ図を描いていただき、**石積護岸や散策路の整備、桜や紅葉の植栽**など、多くの御意見をいただきました。

今後、皆さんからいただいた御意見を参考に、**高千穂らしい**、また、**地域に愛される神代川**の整備を行っていきたいと考えています。



天真名井から湧水を溢れさせました



神代川の川づくりについての検討です

「村づくり講習会」が開催されました！

2月27日、高千穂町の上川登公民館において、上川登、中川登の各集落協定と西臼杵地域農業再生協議会との共催による「**村づくり講習会**」が開催され、集落の関係者約50名が参加しました。

講習会では、**水俣市久木野ふるさとセンター愛林館の沢畑亨館長**に「**上流社会で豊かに暮らす**」という演題でお話いただきました。

中山間地域には下流社会(都市部)では味わえない豊かさがあるとうったえられ、棚田の保全活動の一環として行うイベントを通して中山間地域に対する理解を得る取組など、西臼杵地域にとって大変参考になる内容でした。

なお、沢畑館長には集落内の点検にも参加していただき、村づくりについてもアドバイスをいただきました。



沢畑館長から興味深いお話を伺いました

西臼杵地区土地改良協議会役職員研修会

2月21日、**西臼杵地区土地改良協議会**の**役職員研修会**が開催され、50名のみなさんが参加されました。

今回の研修会では、**鳥獣被害対策の試み**として参考にするため、**大分県日田市の獣肉処理施設**を訪問しました。

日田市上津江振興局で職員の方から施設や運営方法等について御説明いただいた後、処理施設にて処理器具、処理後の獣肉管理器具等について見学させていただきました。

また、現地での研修を終えた後、「**県単がんばる農家収益向上整備事業**」について、県農政水産部農村計画課の内村主査より説明があり、参加されたみなさんは、自らが所属する土地改良区の管理・運営の向上に活かそうと積極的に質問を行っておられました。



獣肉処理施設を見学



昼食で猪肉カレーを試食

たかちほ郷マイスター協会 「里山：匠の館」一周年祭

3月7日、たかちほ郷マイスター協会「里山：匠の館」で一周年祭が盛大に開催されました。

たかちほ郷マイスター協会（会長：武田計助さん）は、「匠の技の伝承と地域貢献」を理念に、手に”技”を持つ匠のみなさん方により設立された団体で、これまで「里山：匠の館」での陶芸、竹細工、わら細工など、すばらしい逸品の展示販売や、様々なイベントや学校での体験教室などの活動を精力的に行ってきた。

その活動は、テレビや雑誌などにも取り上げられ、全国からの注文や体験教室の申し込みなどの反響があったとのこと。

一周年祭では、高千穂町上野の旭ヶ丘保育園のかわいらしいお友達による太鼓演奏などが行われ、一周年を賑やかに祝いました。



あいさつをされる武田会長



旭ヶ丘保育園のちびっ子の太鼓演奏

木育教室

高千穂小学校において、2月21日に3年生、3月5日に4年生を対象にした木育教室が開催されました。

子供たちに木にふれてもらい、木の温もりや香りなどを直接感じることで、木材や森林などへの理解を深めてもらうために開催したものです。

最近、ナイフや金づちなどを使う機会が少なくなっていることもあり、箸を削りすぎて鉛筆のように細くなったり、クギが曲がったり板の横からはみ出したりと、悪戦苦闘していましたが、みなさん大変楽しそうでした。

完成後は、お互いに自分の作品を見せ合って自慢したり、他の人のものと間違えないよう思い思いに絵を描いたりしました。木を大好きになっていただいた1日となりました。



小学3年生(マイ箸づくり)



小学4年生
(マガジンラックづくり)

工藤浩章さんが県伝統工芸士に 認定されました！！



県伝統工芸士に認定された工藤浩章さんと興梠支庁長

3月13日、県伝統工芸士に認定された工藤浩章さんが、興梠支庁長に認定証をもってごあいさつに来てくださいました。

浩章さんは、お義父さまの工藤正任さんの跡を継いで、高千穂神楽面彫り師として活躍されています。浩章さんの息子さんも修行中とのことで、高千穂の伝統がきちんと継承されていくことは大変ありがたいことです。

きっと厳しさや重圧も感じていらっしゃるのではと拝察しますが、どうぞこれからも、観る人を魅了する神楽面を彫り続けてください！



釜炒り茶求評会

3月11日、ゆめゆめプラザTACにおいて、県内の釜炒り茶生産者を対象とした釜炒り茶求評会が開催され、約50名の生産者のみなさんが参加されました。

今回の求評会は、品種の比較を目的としており、11品種の飲み比べや栽培特性などの情報交換が行われました。

「この品種は量が取れる」、「病気に弱い」、「水色がよい」など、実際に栽培している生産者ならではの情報が飛び交い、とても有意義な求評会になったようです。

茶園の新改植が増えている中、今回の結果が品種選びに活かされればと思います。



釜炒り茶求評会の様子

西臼杵農業改良普及事業協議会の6次産業先進地視察

西臼杵農業改良普及事業協議会（西臼杵3町、関係機関、西臼杵支庁で構成）では、農業や地域の新たな活性化の手段として取り組まれている6次産業化について、熊本県の先進事例を視察してきました。視察先の概要は以下のとおりです。

【視察先の概要】

JA大浜（60戸のトマト農家が主体の農協）

何かをはじめなければ先細りとなる危機感から組合長主導で直売所、ピザハウス、休憩所を整備。

玉名市6次産業推進室

一次産業が厳しさを増す中、専門部署を設置し6次化の支援・補助を実施。

「加工は機械導入よりもまず商品を作ること（委託でも）！」

「経営が成り立つまでは時間と覚悟が必要！」

天水町農産物直売所「郷市（501）」

女性だけでの運営を掲げて平成14年にスタート。みかんもちがテレビで話題に。食事処「みかんの花」も開店。元気な女性のリーダーも育っている。



JA大浜 直売所 TOWAE



玉名市での説明

西臼杵型放牧ネットワーク会 視察研修

放牧ネットワーク会では、3月6日に大分県竹田市の植木牧場とJAおおいたの子牛育成施設（キャトルステーション）を視察しました。

植木牧場では、親子3人で繁殖母牛160頭を飼育し、牛の体温監視通報システムを利用した周年放牧（分娩前後も）や哺乳口ポットでの人工哺乳、離乳後の子牛のキャトルステーションへの預け入れ等、徹底した合理化がなされていました。

また、JAキャトルステーションでは、4ヶ月令からセリ市出荷までの約250頭の子牛を農家から預かり、3名の職員で管理し、去勢、削蹄、鼻環通しまで実施する（有料）など、生産者の労力軽減に大きな役割を果たしています。

西臼杵地域とは、飼養規模や条件に違いはありますが、視察をされた会員のみなさんには大変参考になったようでした。



視察研修の様子

完熟きんかん「たまたま」の贈呈



興相支庁長に贈呈する佐藤部会長（中央）と工藤濱一郎副部会長（右）

3月12日、JA高千穂地区きんかん部会（佐藤福二郎部会長）から興相支庁長に完熟きんかん「たまたま」の贈呈がありました。

JA高千穂地区では、24戸の生産者が4.2haできんかんを栽培しており、県の商品ブランドの産地認定を受けております。西臼杵地域は気温の日較差が大きいので、果実の発色や食味が良く、市場から高い評価を受けています。

今年は、去年の長雨の影響が心配されましたが、その後の生育は順調で、3月末までに約70トンの出荷が見込まれております。

「わけもん語り場」通信

3月20日、第8回わけもん語り場（最終回）を「神楽の館」で開催しました。

今回は東京から若手評論家の宇野常寛さんをゲストにお招きし、わけもんのみなさんとの熱いトークが繰り広げられました。わけもんのみなさんは宇野さんの斬新な提案に触発されたようであり、宇野さんご自身も地方文化を考える上で参考になったと喜んでいただきました。

昨年6月から実施して参りましたこの語り場には、みなさまのたくさんのご参加をいただき、大変刺激になりました。ありがとうございました。また新しい企画でお会いいたします！！



編集後記

県内では例年より11日も早く桜の開花が発表され、3月中旬には西臼杵支庁周辺の桜も満開となり春一色になりました。

またこの時期は人事異動の季節でもあります。西臼杵支庁からも多くの仲間が去って行きました。これまでありがとうございました！

そして新しい仲間を迎えます。これから西臼杵のために一緒に頑張っていきましょう！（真）

* 西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などありましたら下記までご連絡ください。

お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課

TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760

URL http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiiiki/shityoson/nishiusuki_shityo/index.html